

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	青木恭子
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	長谷川芳子
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	藤谷 猛



世界に希望を生み出そう

2023～2024年度名古屋アイリスRCのテーマ

10年間の礎を力に
情熱の持続と感謝の心で
奉仕と生業に尽力しよう

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第460回 例会

2023年10月4日 13:00～

- 司会 荒山久美 例会・出席・親睦委員長
- 斉唱 君が代、奉仕の理想
- 出席報告 出席者数 13名 / 26名
出席率 50.0%
- ゲスト
名古屋北 RC 地区米山奨学委員
小川剛史様
- ビジター
名古屋昭和 RC IM 実行委員長
上野広様、副委員長 高橋進様

ニコボックス

- 名古屋北 RC 地区米山奨学委員 小川剛史様
本日の米山月間の卓話にお伺い致しました。
宜しくお願い致します。
- 名古屋昭和 RC IM 実行委員長 上野広様、
副委員長 高橋進様
IM 宜しくお願い致します。
- 青木恭子会長
今日のお話、楽しみにしております。
- 長谷川芳子 幹事
名古屋北 RC 小川様、IM 実行委員長上野様、
副委員長高橋様、ようこそアイリスへ。
- 安井忠 ロータリー財団委員長
やっと秋らしくなってきました。夏が「ガレ」の秋
「バテ」の今日この頃です。
- 島村恵三◎直前会長
今月、誕生日です。

10月度 誕生日お祝い

8日 島村恵三さん 14日 須賀祐介さん

会長挨拶



本日はお忙しい中名古屋北ロータリークラブより小川様、名古屋昭和ロータリークラブより上野様、高橋様においで下さいましてありがとうございます。小川様には地区米山記念奨学委員としてそれに関する卓話をお願い致します。上野様、高橋様には IM についての

PR としてお話を頂きます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

10月に入りまして秋の気配も少しずつ感じられるようになりました。皆様、ご自愛の程お願い致します。

幹事報告



10月20日は、ガバナー公式訪問が、東急ホテルにて12:30～から開催されます。北ロータリーがホストで、葵ロータリー、アイリスの3クラブの合同例会です。昨日、北ロータリークラブの足立幹事より連絡がありまして、3クラブがそれぞれ、ポリオ撲滅の募金を募って、その合計を、ガバナー公式訪問当日に、北ロータリークラブ会長より、酒井ガバナーにお渡しすることになったのでご協力をお願い致しますのとことでした。ご賛同いただけます方は、ぜひ募金をお願い致します。後ほど、募金箱を回します。よろしくお願い致します。

本日は、例会後に理事会が開かれます。理事役員の方は出席をお願い致します。

IMPR



名古屋昭和 RC IM 実行委員長上野広様、IM 実行副委員長 高橋進様より IM のご説明と PR のお話がありました。

卓話

演題：米山記念奨学金事業の概要について

卓話者：地区米山記念奨学委員会 小川剛史様

本日、ロータリー米山記念奨学事業の卓話をさせて頂きます、名古屋北ロータリークラブの小川剛史と申します。どうぞよろしくお願い致します。平素は米山記念奨学事業へのご理解とご尽力を頂き、誠に有り難うございます。名古屋アイリスロータリー様には、これまでに6名の奨学生の世話クラブになって頂き、また、大変貴重な寄付金

を賜りまして、委員会を代表して御礼申し上げます。そして今年度はネパールからの奨学生のラウト・ニラム君がお世話になっています。今年 1 月の選考会でニラム君の面接官を私が務めました。皆さんも彼と接してお気づきかと思いますが彼の一番の良い所は、誰とも仲良く出来る親しみ易さと、皆さんを和ませるにその笑顔だと思います。私は彼を面接した時、是非米山奨学生になって、世話ロータリーで素晴らしい方々と出会って欲しいと願っていました。幸いにも、アイリスロータリーさんとのご縁が出来、加えて彼の楽しそうで且つ、充実した姿を拝見して、皆様と良い関係が築けていることを改めて確信させて頂いた次第です。

私は地区出向 3 年目になります。ロータリー歴は 7 年で、一昨年からは米山記念奨学委員会でお世話になっています。ご存知の通り、米山記念事業は、質・量両面において大変充実した尚且つとても責任の重い事業であります。主要事業としては、オリエンテーション、春・秋の 2 回開催される研修会、そして毎年米山の狭き門に挑んで来る奨学生候補の皆さんの面接選考会等があります。特に最後の選考会については、当奨学委員会の最大の行事と言っても良く、ロータリー精神を学びつつ、国際親善と世界平和に寄与して貰える奨学生を第 2760 地区に迎え入れたいと思っております。本日は多くの先輩ロータリアンがいらっしやる中、聊か緊張をしておりますが、米山事業と活動についてご理解を頂けるような卓話をさせて頂きます。

最初に『米山月間』についてお話させて頂きます。何故 10 月なのか?という疑問があるのでは?と思います。実はもともとは月間ではなく『米山週間』でした。米山梅吉翁が逝去した 4 月 28 日までの 1 週間を指していたのですが、のちに 10 月 1 日~7 日へ変更されました。理由ははっきりしないのですが、① ロータリー雑誌期間が 4 月となり重なった。② 4 月では各ロータリーへ送付される資料数字が 1 年前のものになってしまうから。③ 4 月では採用されたばかりの奨学生に卓話を依頼するのが難しい。④ 交通機関のストライキが 4 月に集中して奨学生が例会会場に来れなくなる等、色々な理由が挙げられるのですが、⑤ 東京ロータリーによる米山基金を日本全地区クラブの共同事業とする決議合意が行われたのが 1957 年の 10 月だったという説が有力です。1983 年より月間となり定着しています。因みに今年度は 2760 地区の 32 クラブより、卓話依頼を受けています。

米山記念奨学事業は 1952 年、日本最初の RC を設立した米山梅吉さんの功績を記念して設立された奨学制度で、外国人留学生の方のみを対象とした、日本 RC 独自の事業です。当時東京 RC の会長だった古沢丈作さんが『米山基金』の構想を発表したのが発端でした。この奨学事業は、今年で設立 71 年を迎えました。なぜ外国人留学生かかというと、『二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に国際親善と世界平和に寄与したい』という当時のロータリアンたちの強い願いがあった為です。最初は海外(特にアジア)から優秀な学生を日本に招いて奨学支援するという方法が採られ、1954 年に第 1 号の奨学生がタイから来日、2 年後には、日本で勉学する在日留学生を対象とする今の方式に変更されました。こうして、東京 RC が始めた『米山基金』は、わずか 5 年

(1957 年)で、日本の全てのロータリークラブの共同事業として継承され、1967 年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。因みに 2012 年には公益財団法人に組織変更しています。誤解をされている方も多いためですが、米山記念奨学委員会の事業は米山梅吉翁の功績を偲んで行われた事業であり、財団の資金に米山家の資産が使われているわけではなく、財源はすべてみなさんからの御寄付で成り立っています。

2022-23 年度の寄付金収入は 14 億 2292 万円と、前年度から 7,700 万円増となりました。寄付金にはクラブから会員数分を治める「普通寄付金」と、個人・法人・クラブから任意で出す「特別寄付金」の 2 種類があります。後者については表彰の対象となります。地区別の個人平均寄付額ですが、昨年の全国平均寄付額は、16,960 円で、前年度より 989 円増加しました。最も多かったのは第 2590 地区の 27,903 円でした。当地区は 1 人あたりの平均額は 15,032 円、全国で 15 位でした。多くの額を頂いていますが、全国平均に比べますと少ないのが現状であります。特別給付者割合を見ますと、全国平均は過去最大の 47.3%でした。当地区は 32%で全国 25 位になります。ここまで見て頂いてお分かりの通り、当地区は会員数が全国で最も多いにも拘わらず、個人平均額・特別給付者割合、何れも全国平均を下回っています。こうした現状を受け、当地区は平均額 20,000 円と特別給付者割合増加を目標に掲げております。

名古屋アイリスロータリー様からは、2023 年の 6 月 30 日現在で、普通寄付金として年間 140,000 円を頂いております。この寄付金は、年間 900 人(全国)の奨学生をお世話する為の安定財源になっています。また、特別寄付金は個人・法人より任意で頂戴しており、金額に決まりはありません。そして、名古屋アイリスロータリー様の 2023 年 6 月 30 日現在における寄付金累計額(普通+特別)は、2,660,000 円です。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作り育てた独自の事業で、全 34 地区が参加する多地区合同プロジェクトです。この奨学金の最大の特長は 1971 年に発足した『世話クラブ・カウンセラー制度』です。米山奨学生にはロータリー活動に参加して、会員メンバーとの交流を深めてもらうという大切な目的があるのですが、彼等との架け橋となって頂くのがカウンセラーの皆様であります。奨学生には毎月 1 回以上例会への出席義務があり、世話ロータリークラブ会長より手渡しで奨学金を受け取ることにしているのですが、ここが銀行振込の多い他の奨学金と異なるところであります。但し、コロナ禍において休会が続く場合の特別措置として銀行口座への送金も認めているのですが、これまで大きな混乱がないこと、また危機管理の視点から多額の金額を持ち歩くリスクを回避することを考慮して、2023 年 4 月より送金という奨学金支給方法も選択できる様になりました。加えて、米山奨学生を受け入れる世話クラブには、奨学生 1 人当たり年額 60,000 円が奨学生の例会昼食代・クラブ内行事参加費などをカバーする補助費として、当奨学会よりクラブ口座に交付されています。奨学生と世話クラブの交流を活発に行

っていただくために是非積極的にご活用下さい。

カウンセラーのお仕事としては、各ロータリーにおいて様々かと思いますが、奨学生がロータリアンの皆様と円滑に交流出来る様な、環境作りが最大のお役目であると思います。奨学生にとってカウンセラーは、日本での彼等の生活や勉強に関する悩み事等を相談する人生の先輩であります。時には親代わりの存在として、奨学期間終了後も深いお付き合いをされている方々もいらっしゃいます。

米山記念奨学事業は、外国人留学生を対象とする民間の奨学金では国内最大規模です。2023 学年度は日本全国で 900 人(新規 649 人・継続 251 人)が採用され、各ロータリークラブでお世話頂いております。累計では世界 131 の国と地域からの留学生 23,509 人を支援しています。奨学生の国・地域別の割合はグラフの通りです。累計では中国、韓国、台湾が多く約 7 割を占めているのですが、最近ではベトナムからの奨学生が急増しており、現役の奨学生においては中国に次いで、二番目に多くなっています。当地区では今年度合計 55 名の奨学生を受け入れています。国・地域別には、中国・韓国・モンゴル・ベトナム・ネパール等となっています。2024 年度の 2760 地区の新規受入奨学生数は 35 名です。地区割当数は 51 人です。(16 人継続)、米山奨学生の採用数は、ほぼ寄付金額で決まります。ロータリー全体の寄付が増えれば全国の採用数が増えます。地区割当数は寄付実績から下記の 4 つの要素の対全国比で算出します。

- 年間寄付総額: 50%
- 個人平均寄付額: 30%
- 特別寄付者割合: 10%
- 有資格者数(地区内で対象となる留学生): 10%

これらの要素が他地区より増えれば、その地区の採用枠が増えます。中でも個人平均寄付額は地区の規模に左右されることなく、寄付増進の成果が反映される指標の一つであり、全国各地で寄付増進の取組みが積極的に行われています。

採用につきましては、全国統一の『選定基準と評価表』での評価により行います。ロータリー米山記念奨学会は、2012 年に公益財団法人となりました。それまでの奨学生の選考は各地区の主体性が尊重されていたようですが、公益認定を取得したことにより、より公平性・より透明性が求められるようになりました。それを確保するため 34 地区共通の『選定基準と評価表』が必要となった訳です。その基準対象は下記の通りです。

■『学業』学業に対する研究の目的、目標を明確にし、成果を上げる努力をしているか?

『異文化理解』異なる文化、習慣などを理解する努力をしているか?

■『コミュニケーション能力』言語のみならず、人間関係における円滑なコミュニケーションを築き、自己の確立と共に他者を受け入れる柔軟な姿勢を持つかどうか?これに各地区の裁量が加味されます。

奨学期間を終えた学生は、学友になって頂きます。学友会というのは、奨学制度を修了された方の会であり、委員会活動でかなりの頻度でお手伝いを頂いております。夏・秋の研修会や忘年会にも参加、先輩

として奨学生の良き相談相手になってもらっています。巣立った奨学生たちは、個人としてもさまざまな形で活躍しています。教育や研究、NPO や NGO、起業する者などあらゆる分野にわたっています。また、学友からロータリアンになった人もいます。米山学友会は 2 年に 1 回、世界大会が開催されています。今回で 3 回目となる世界大会は今年 8 月 5 日 6 日に『再会 in 関東』を合言葉に、つくばの地で開かれました。次回は 2026 年、ロータリアンの国際大会に合わせて、台湾で開催されます。学友及び学友会については、豆辞典 12~19 頁をご覧ください。

世の中は、ほぼコロナ以前の状況に戻りつつあり、米山記念奨学委員会もこれに準じた形事業活動を行っています。これからも国際交流の懸け橋となる優れた人材を育てるという使命に尽力して参りますので、引き続き当会事業へのご理解とご支援、並びに寄付へのご協力をお願い申し上げます。

